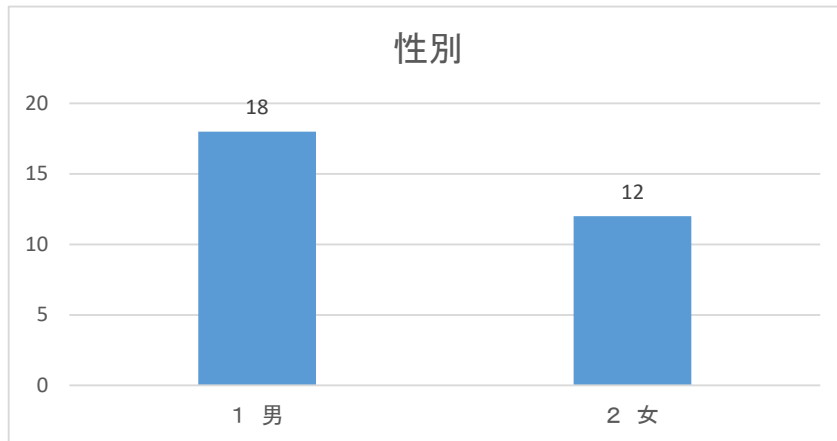


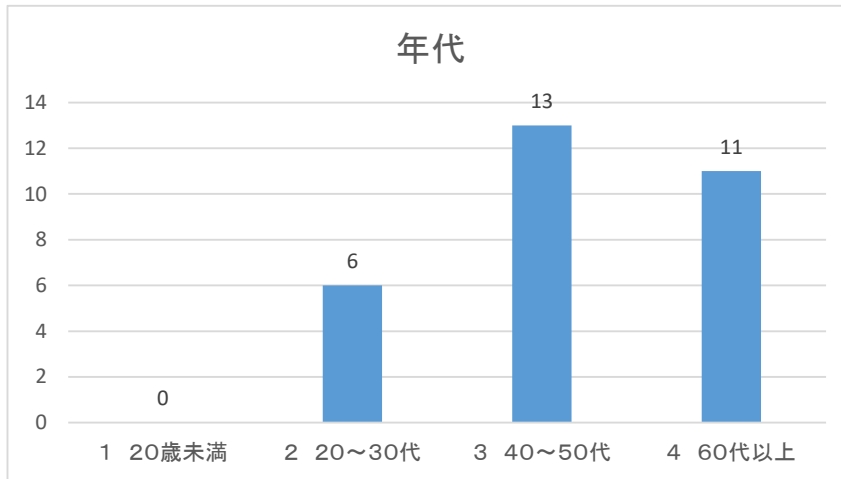
令和4年度 考えあおう 不登校 ひきこもり 夏の対話集会の参加者アンケート結果

提出者／参加者＝30／35(含スタッフ3)

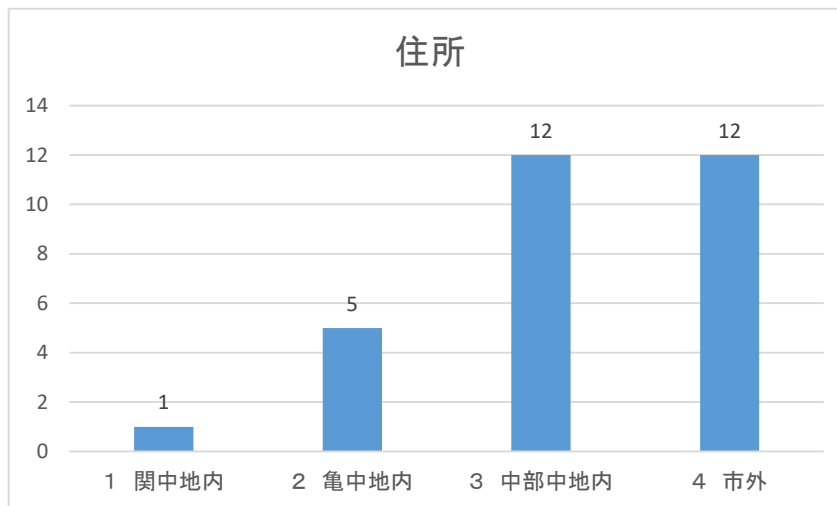
問1 性別を教えてください。



問2 年齢を教えてください。

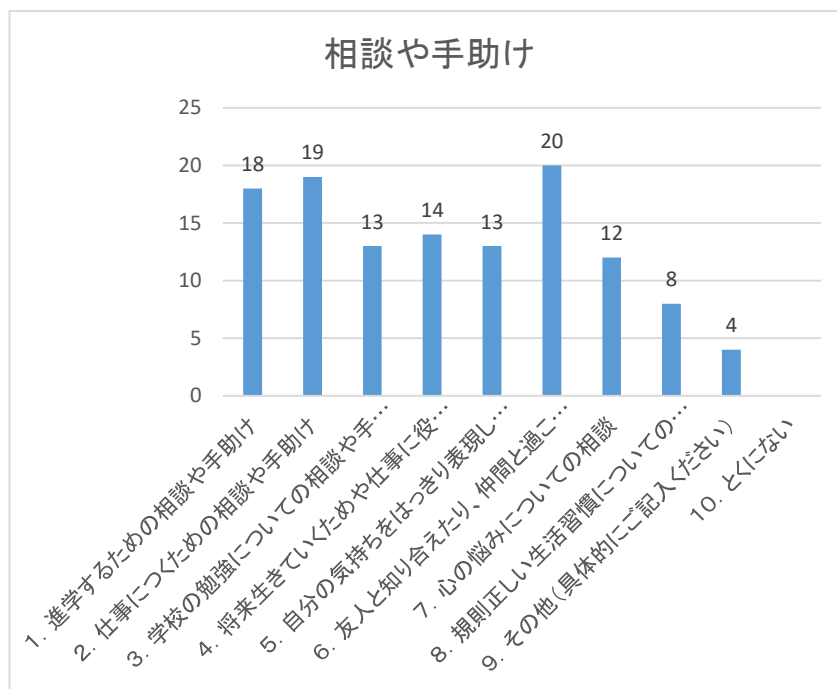


問3 住所を教えてください。



問5 不登校やひきこもりの人たちのために、次のような相談や手助けなどがあればいいのと思ったことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 進学するための相談や手助け
2. 仕事につくための相談や手助け
3. 学校の勉強についての相談や手助け
4. 将来生きていくためや仕事に役立つ技術や技能の習得についての相談や手助け
5. 自分の気持ちをはっきり表現したり、人とうまくつきあったりする方法についての指導
6. 友人と知り合えたり、仲間と過ごせたりする居場所
7. 心の悩みについての相談
8. 規則正しい生活習慣についての指導
9. その他(具体的にご記入ください)
10. とくにない



問5 9. その他(具体的にご記入ください)

- 当事者の方も求める情報の提供
- 支援(お金)が、不安を取り除くことになる。
- ポジティブに出来事をとらえ、前を向いて生きるためのサポート、家族の方のサポート

問4 今日の対話集会の感想を聞かせてください。

- 当事者の方が、具体的にお話して下さったので、当事者のつらさや考え方がよくわかりました。
- 当事者や保護者・行政の方の話を聞いて視野を広げることができました。また、この話し合いを通して保護者だけでなく全機関が連携していかないといけないと改めて感じさせられました。
- 当事者、家族の方の本音がたくさん聞けてよかった。
- 当たり前の押し付け、問題圧力など知らないうちにその流れに乗ってしまっている自分に気づくことが、できたような気がする。好きなことがあるうちはまだいいという感覚に安心を覚える。
- 実例を多く聞けて非常にありがたくためにもなりました。
- 当事者の方の体験、悩み、想いなどを直接聞くことができてよかった。
- それぞれの体験談や、見通しや悩みなど具体的に聞けてとても参考になりました。
- 「不安」「自己肯定感 高い 低い」などが課題となるが、そこから脱却して議論していきたい。他のグループの人とも話し合えるとよかった。
- 当事者の方の話を多く聞けて有意義でした。
- 不登校等の対応に「こうすればよい」という盛会はないので、そのヒントになるような人の話を聞く大切さを毎回感じます。
- 対話集会に参加させていただいて、当事者の方、保護者、行政の様々な意見を聞かせていただいて自分自身視野や世界が広がったと思いました。今までに自分が思っていたことやしていたことなど、これからのこと奈で、様々なことが学べたと思います。本当にありがとうございました。
- 親や当事者の居場所は大切と感じた。当事者、先生、適応指導教室の先生など様々な人がいろいろなことで、考え悩んでいることがわかった。
- 自分として一番良かったことは、当事者の方の話を聞いたことです。やはり様々な立場の方の考え方を聞くことは大切だと感じます。新たな視点で不登校ひきこもりについてみることができました。
- ひきこもり(不登校)本人の方やその保護者の方の話を直接うかがえたことが何より一番よかったです。頭の中で分かっている、自分自身の行動として変わっていけるよう、今日の話を生かしていきたいと思います。
- 大変勉強になりました。
- 当事者の方の貴重なお話が聞けてよかったです。当事者、親、学校、行政など様々な立場の人が一つのテーブルで話し合えるスタイルは、とてもよかったです。
- 当事者の方、学校関係者、保護者、各々の立場の方からお話を聞けて有意義な時間でした。あらたなであいもありました。ありがとうございました。
- 当事者の方、保護者の方のお話を聞くことができて、具体的な声を聞けて大変勉強になりました。これからのこのような会を開いてほしいと思いました。
- 当事者の方、保護者の方のお話が聞けてとてもよかったです。それぞれの方が利用されているサービ^スや考えを聞くことができてとてもよかったです。ただ、グループ替えがなかったので最後は少し話題慣れになった漢字があったので、グループ替えして他の方のお話も聞けらよかったですなと思いまし
- たくさんの関りのある人がいて驚きました。
- 親の想いと理解を聞かせていただきました。好きなことをするのは、悪ではない。好きなことを伸ばすと不安から満足となる。
- 行政の方がたくさん関わってくださっていて心強く感じました。
- 当事者さんのお話等も聞けてよかったです。学校、進学、就労など成長するにつれ悩みも不安も変化し現状は就労についてのことをいろいろ考えますが「好きなこと」この先に続いていくといいなと思
- 当事者、家族、教員、支援者の方々といろいろな立場の方々のお話ができよかったです。
- 様々な立場の方と意見と交流ができ有意義でした。集会のプログラムが工夫されていて「対話」がうまく進んでいたと思います。ありがとうございました。
- 今日は、一つのグループでじっくり話を深められてよかったです。当事者、家族、支援者の方で話し合いましたが、それぞれのお話が共感できることばかりでした。現場の先生も多数参加していて、これからの活動にちょっと自信をもってあたれると思います。亀山がよくなってほしいです。

問6 行政、教育委員会(学校)、亀っ子サポートなどや身近な人たちに望むことなどを自由にお書きください。

- 成功体験が積めるイベントなどあればうれしいです。
- このような集まりの機会をもっと増やして下さい。
- 当事者の方に寄り添った支援を行うためには、不登校やひきこもりなどに対する理解と必要な情報の提供が必要と感じた。
- 支援を成功させるには、様々な人材によるリレーが必要になると思います。そのため、時間がかかったり不安を増長させてしまったり等当事者はつらい場面が出てくることがあります。できる限りワンストップで支援に結び付くような仕組みを地域で作れるといいと思いました。
- 身近な人の参加をお願いします。
- 夜間中学校:学び直しの場所と時間
- 進学相談、就職相談ができる場が必要
- 義務教育後の社会に出た時に、集まれるところがあればいいのになと感じました。なかなか難しいとは思いますがかめっこもあるとは思いますがと、思いました。
- 当事者の居場所づくり、当事者の話せる場
- いろいろな生き方をしているすべての人が今の自分でいいと思えるような社会になっていけるといい
- 居場所の維持
- 訪問支援を強化してほしい。本人に会えなくても、粘り強く訪問を続けてほしい。家族もあきらめがち。定期的に会って話を聞くなどもしてほしい。ひきこもりのサポート、寄りそいができる人材を育成してほしい。
- 長く引きこもっている方が地域に見えたら行政の方に情報を頂けるとありがたい。
- 発達障害の子どもたち、グレーの子どもたちが、無理をして学校という集団生活に合わせて生活することを「頑張っているからえらい」という肯定的な指導を行わないようにしてほしいです。生まれつき少数派の特性を持って生まれた子たちに「多数派に合わせて生きろ！」というのは個性の否定。人格の否定になると思います。大人になってからその心の傷で社会に適応できなくなることが心配です。そこまで考えて学校での指導を考えてほしいです。
- 綾が安心して相談できる場所の提供。ひきこもり 不登校について勉強できるが所、勉強会など。学校内での居場所の確保。ひきこもりの人は7割が精神疾患、発達障害を持っていることの啓発。→そこから見えてくるものがあると思います。
- 周囲への理解を広げる。
- 学力に関係なく能力に応じた職につけるための情報収集や支援。ここに行けば大丈夫と思える居場所ができたらいいと考えています。
- 好きなこと、得意なことがこれからにつながっていけるようなサポート(就労)支援があるとよい。
- 学校の人事が足りていないので、担任の負担が大きい。不登校専門のスタッフの方などいれば・・・
- 今日の話し合いの中で「居場所」の必要性を強く実感しました。また最終的に「働く場」を持ちたいという当事者の想いを聞き、幅の広い緩やかな誰でも働く場があるといいと思いました